

楽しんでいただくために、時を越えて舞台の名作が高画質の定点上映で蘇ります。

舞台芸術作品を「観に行く」から「やってくる」へ。舞台芸術をもっと手軽に

舞台映像上映 Re LIVE THEATER

# Re ライブシアター

上映作品



東宝ミュージカル

## 『四月は君の嘘』

(2022年博多座にて収録)

原作

新川直司 (講談社「月刊少年マガジン」)

脚本

坂口理子

作詞・作曲

フランク・ワイルドホーン

作詞

トレイシー・ミラー / カーリー・ロビン・グリーン

訳詞・演出

上田一豪

出演

木村達成 / 小関裕太 (Wキャスト) 生田絵梨花

唯月ふうか 水田航生 ほか

# 7月26日

1 10:30上映 [10:00開場]

2 15:00上映 [14:30開場]

全席指定

# 1,900円

丹波篠山市立

## 田園交響ホール

★未就学児の入場は、ご遠慮ください。★駐車場は、篠山城跡前 三の丸広場をご利用ください。(無料・9時から駐車可)

TEL 079-552-3600 〒669-2332

兵庫県丹波篠山市北新町41

主催:丹波篠山市・丹波篠山市教育委員会

ホームページ 交響ホール 検索



Re LIVE THEATER  
舞台映像上映 **Reライブシアター**

舞台芸術作品を「観に行く」から「やってくる」へ。  
舞台芸術をもっと手軽に楽しんでいただくために、時を越えて舞台の名作が高画質の定点上映で蘇ります。

東宝ミュージカル『四月は君の嘘』 (2022年博多座にて収録)

正確無比な演奏で数々のピアノコンクールで優勝した神童・有馬公生は、指導者であった母の死をきっかけにピアノの音が聞こえなくなり、コンクールはおろかピアノに向き合うことから遠ざかってしまう。その数年後の4月。高校生になった公生は幼なじみの澤部椿を通じ、同い年のヴァイオリニスト・宮園かをりと出会う。ヴァイオリンコンクールでかをりの圧倒的かつ自由な演奏を聴いた公生の世界は、再びカラフルに色付き始める—

10:30上映



©Toho Co., Ltd 写真提供：東宝演劇部

原作 新川直司 (講談社「月刊少年マガジン」)  
脚本 坂口理子  
作詞・作曲 フランク・ワイルドホーン  
作詞 トレイシー・ミラー／カーリー・ロビン・グリーン  
訳詞・演出 上田一豪  
出演 小関裕太 生田絵梨花 唯月ふうか 水田航生 ほか

15:00上映



©Toho Co., Ltd 写真提供：東宝演劇部

原作 新川直司 (講談社「月刊少年マガジン」)  
脚本 坂口理子  
作詞・作曲 フランク・ワイルドホーン  
作詞 トレイシー・ミラー／カーリー・ロビン・グリーン  
訳詞・演出 上田一豪  
出演 木村達成 生田絵梨花 唯月ふうか 水田航生 ほか

スケジュール

2026年7月26日(日)

1

10:30上映  
[10:00開場]

2

15:00上映  
[14:30開場]

※上映時間 約3時間(休憩含む)

料金

全席指定

1,900円(税込)

・未就学児の入場は、ご遠慮ください

・駐車場は、篠山城跡前 三の丸広場をご利用ください。(無料・9時から駐車可)

申込開始日

友の会先行予約

5月23日(土) 9:00AM~【電話・Web】

一般発売

5月30日(土) 9:00AM~【電話・窓口・Web】

丹波篠山市立

田園交響ホール

TEL 079-552-3600

〒669-2332

兵庫県丹波篠山市北新町41

主催:丹波篠山市・丹波篠山市教育委員会

ホームページ [交響ホール](#) [検索](#)



プレイガイド

丹波篠山市内 (079)

田園交響ホール・・・552-3600

小山書店・・・552-0019

ふくすみストア・・・557-0053

丹波市内 (0795)

春日文化ホール・・・74-1050

かいばら観光案内所・・・73-0303

丹波の森公園・・・72-2127

三田市内 (079)

阪急オアシスえるむプラザ

・・・565-1148

Webではより簡単に早くチケット購入手続き可能です。

ローソン・ミニストップ店頭「Loppi」でもご購入いただけます。

ローソンチケット Web <https://l-tike.com> (Lコード: 57356)

(ローソン Web 受付は、発売初日のみ 10:00 ~ 予約可)

舞台映像上映

Reライブシアター

とは?

「Reライブシアター」は、「舞台公演映像」と「劇場空間」を掛け合わせた新たな舞台芸術の鑑賞スタイルです。

一般社団法人EPADが全国の公立文化施設と連携して、舞台公演映像の上映活動を展開しています。

「誰かと肩を並べ、同じ時間を共有する」そんな体験は、劇場ならではの楽しさのひとつです。高画質で記録された定点映像を

劇場空間で観ることは、まるで俳優たちが目の前にいるかのような錯覚をもたらします。編集を施さない定点映像だからこそ、

生の舞台に触れたときの臨場感や高揚感を感じることができるのです。

EPADでは、「Reライブシアター」の取り組みが、舞台芸術の未来につながる新たな一歩になることを目指しています。

協力：公益社団法人  
全国公立文化施設協会

企画：(一社) EPAD



助成：文化庁 人材育成・収益化に向けた  
舞台芸術デジタルアーカイブ化推進支援事業

